長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ80

1月 今日の一言

６．１．１８　校長　渕上　卓也

「１年生の荷物も、なかなか重いね。」

学期初めの登校時には、やはり荷物が多いもの。月金バッグに加え、絵の具、習字道具、クロームブックなど、特に先週は大荷物を抱えて、みんな頑張って滑石小坂を上っておりました。そんな中、とても素敵な光景を目にしたのです。

その日は雨が降っていました。いつものように登校時、渕上は坂の途中で立哨をしていました。そろそろ学校に上がろうかな・・・と思っていたころ、５年生と１年生の普段あまり見掛けないペアがやってきました。特に５年生は、雨の中傘もささずに大荷物を抱えていたのです。「傘をささんば、濡れるよ。持ってやるけん。」と声を掛けようとしたところ、「１年生の荷物も、なかなか重いね。」と、笑顔で話し掛けてきたのです。この５年生が持っていた荷物は、１年生の荷物だったのです。彼は、傘をさすことよりも、１年生の荷物を持ってあげることを優先していました。

登校途中で何があったのかはわかりません。１年生が、荷物の多さに困って立ち止まっていたのかも・・・。雨が降ってきたうえに、大荷物を抱えていた１年生を、彼は放ってことができなかったのでしょう。「助けてくれて、ありがとう！！」「支えてくれて、ありがとう！！」感謝感激です。

渕上は、「傘をささんば、濡れるよ。」と声を掛けるのを止めました。その代わりに「ありがとう。下級生が憧れる５年生の姿だね。」と伝えました。この二人を追いかけるように、傘をさすのも忘れ、渕上も学校まで坂を上りました。その後ろ姿を眺めながら、本当に本当に幸せな気持ちになったこの日この時でした。

＜今日の一句＞

幸せな
気持ちをいつか
返さねば　　卓也